

# 入学式

令和4年4月3日(日)に、看護学部56名、大学院看護学研究科2名、助産学専攻科8名の新入生を迎え、令和4年度入学式を挙行致しました。

新入生代表の内田加那子さんが、宣誓の言葉として「敦賀市立看護大学の学生としての自覚と責任を持ち、最善の看護を提供できる看護師になるため主体的に学び、困難をも仲間と協力し強く逞しく乗り越えていきます。」と述べました。

また、在校生代表の山内真秀さんが「これからの大学生活が充実したものになること、それぞれが自身の持っている看護師像に少しでも近づけることを願います。」と歓迎の言葉を述べました。



# まぶかり

## 基本理念

敦賀市立看護大学は、豊かな教養と総合的な判断力、高度な専門的知識と実践力を有する人材を育成するとともに、看護の発展に貢献できる質の高い研究に取り組むことを通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる大学を目指します。

ロゴマークに  
込められた意味



## 教育目標

敦賀市立看護大学は、大学の基本理念を達成するため、次の5項目を教育目標とします。

1. 学問への関心を持ち、豊かな教養を身に付け、自立した社会人として行動できる能力を育成します。
2. 人々の生命に対する畏敬と、生き方への尊厳の念を持って看護が提供できる豊かな人間性を育成します。
3. 高度な医療に対応できる専門的知識、技術、倫理観を身に付け、看護が実践できる能力を育成します。
4. 地域医療の充実と発展を自らの使命とし、他職種と協働して地域に貢献できる能力を育成します。
5. 専門職としての誇りを持ち、将来にわたり看護を発展させていくための自己研鑽能力と主体的研究能力を育成します。

## 令和4年度前期(4~9月) イベント

### 第1回 オープンキャンパス

令和4年 **7月17日(日)** **要予約**  
10:00~14:00  
福井県内の高校生を対象に行います。

### 第1回 看護大学健康講座

令和4年 **7月9日(土)**  
10:00~12:00  
講演「忍び寄る熱中症の予防」  
健康チェックコーナー、相談コーナー  
どなたでもお気軽にお越しください。

## お知らせ

※新型コロナウイルスの感染状況により急遽中止・変更となる可能性があります。事前にお問合せください。  
※今後のイベント等につきましては、ホームページ等でお知らせします。

## 入試情報

試験日程等  
試験会場…敦賀市立看護大学

### ●敦賀市立看護大学大学院 看護学研究科看護学専攻(修士課程)

試験区分	出願期間	試験期日	試験科目	合格発表	手続期間
一般入試	令和4年 8月22日(月) ~8月31日(水)	令和4年 9月10日(土)	・英語 ・小論文 ・面接(口頭試問を含む)	令和4年 9月16日(金)	令和4年 9月20日(火) ~9月30日(金)
社会人入試			・小論文 ・面接(口頭試問を含む)		
推薦入試			・面接(口頭試問を含む)		

・出願資格審査期間は令和4年7月25日(月)~7月29日(金) 詳細は募集要項を参照してください。・推薦入試は本学の学部生に限ります。

### ●敦賀市立看護大学助産学専攻科

試験区分	出願期間	試験期日	試験科目	合格発表	手続期間
一般入試	令和4年 8月22日(月) ~8月31日(水)	令和4年 9月10日(土)	・小論文	令和4年 9月16日(金)	令和4年 9月20日(火) ~9月30日(金)
社会人入試			・面接(口頭試問を含む)		
推薦入試					

・出願資格審査期間は令和4年7月25日(月)~7月29日(金) 詳細は募集要項を参照してください。・推薦入試は本学の学部生に限ります。

## 新学長就任

令和4年4月1日付けで敦賀市立看護大学の新学長に内布敦子が就任致しました。敦賀市立看護大学では新学長のもと、高度な専門技術と幅広い知識を有する人材を育成し、地域医療に貢献して参ります。

### 内布 敦子 略歴

熊本県出身。虎ノ門病院で約10年の臨床経験の後、千葉大学で看護学修士、大阪大学で博士(人間科学)を取得。東京女子医大看護短期大学講師、ミネソタ大学リサーチスカラー、1993年から兵庫県立看護大学(現在の兵庫県立大学)に勤務し、教授、学部長、副学長を歴任。2021年4月から公立大学法人敦賀市立看護大学理事を経て、2022年4月理事長兼学長に就任。専門はがん看護学。





## ごあいさつ

4月3日曜日、桜の花が満開直前の素晴らしい季節に看護学部56名、大学院看護学研究科2名、助産学専攻科8名の新生が入学式を迎えました。新生代表で内田加那子さんが、看護を志して日々鍛錬されることを誓う素晴らしい宣誓の言葉を述べられました。新型コロナウイルスの影響で高校生活では多くの制限があり、思いっきり楽しむことができなかったのではないかと案じましたが、制限の中だからこそ心を強く持って頑張ることができた世代になったのかもしれないと、頼もしく思いました。

さて、入学式式辞で、私はアンドラゴジーの話をしました。成人を対象とした教育で広く用いられている教育技法です。大学生の場合、科学だけでなく社会のしくみに関する知識などもある程度習得し、すでに自分なりに物事を考える技術を身につけています。私たち教員は、一人の大人として学生に敬意を払わなければなりません。教員は情報提供者もしくは共同探究者として学びをサポートする役割を担います。「学ぶのはあなた自身」というのが大学の学びの大原則です。自ら疑問を持ち、積極的に探究することが大切です。

大学では、私たちは現時点での知識や技術を皆さん



に提供しますが、医療技術の進歩とともに使われなくなるものや異なる研究結果が出てきて修正が必要なものもあるはず。医学の領域でもそうですが、病気の解明が進むと昔の知識は使えなくなることはよくあります。教えられることを鵜呑みにするのではなく、疑問を持ったそれを大切にしてほしいと思います。教員に疑問をぶつけてみて、納得いく答えが得られることもあります。わかっていないことも多いので一緒に考えたり文献を探したりすることもあるでしょう。それによって私たち教員も学ぶことになります。

昨年度、私が担当している「ターミナル看護」という授業で、ACP(Advance Care Planning)について学生に考えてもらいました。ACPは死が訪れる前にあらかじめ自分



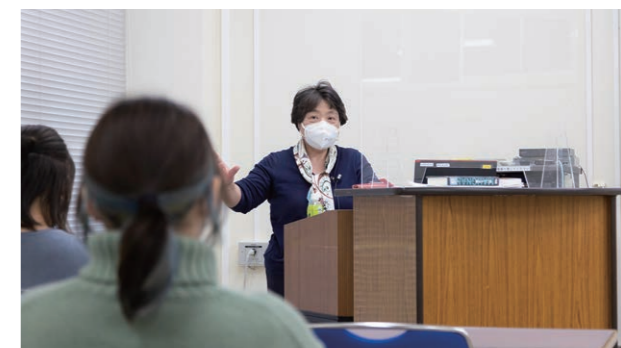
本学正面

自身の治療や療養について家族や医療者と話し合っておくことを言います。治療の限界がわかり自分の死期がなんとなく予測できる時期で、まだ意思決定ができるくらいの体力が残っているときに、「もし心肺停止になったら救命しないでください」などと書面で示して、みなに知っておいてもらうなどを意味しています。欧米ではかなり普及していますが日本ではまだ普及していません。なぜ普及しないのか、人生の最終段階で人工的なチューブを何本も挿入され、回復の見込みがないのに、意識のないまま人工呼吸器につながれることは、その人の尊厳を傷つけることにならないのかといったことを考えるためには、ベースとなる知識が必要です。例えば、生物学的な死とはどういうことを言うのか、人間は自分の終末期をどのように認識するのか、一般市民はACPについてどのように認識しているのか、医療現場では患者の意思をどのように確認し配慮しているのか、文献を通してまず知る必要があります。そのうえで、学生にACPの必要性や終末期の患者との対話について議論してもらいました。

感心したのはほとんどの学生が、自分が終末期の患者と対話することに積極的であるということでした。死を他人事ではなく、自分事として考えてくれていることがよくわかります。またどの学生の意見にも相手を尊重する看護

者の態度を読み取ることができました。このような学生たちがこの大学で育っていることは、素晴らしいことです。授業を提供する教員にとっても素晴らしい学びになりました。前向きに学ぶ学生の態度はまさにアンドラゴジーの必要条件です。学生とともに教員も成長することは大学として理想です。

敦賀市をはじめとして周辺地域の住民の皆さんや様々な団体のご協力によって、学生は多くのことを学んでいます。地域に育てられる大学として、健康、看護に関連した研究や社会貢献をすすめ、さらなる発展を目指したいと思います。



授業風景



本学中庭

